

# 2022年度（令和4年度）及び2023年度（令和5年度） 福山市民病院医師労働時間短縮計画

・計画期間

2022年（令和4年）10月～2024年（令和6年）3月末

・対象医師

- ①全医師
- ②初期臨床研修医
- ③専攻医
- ④救急担当医（救命救急センター兼務）
- ⑤麻酔科医
- ⑥救急科医

## 1 労働時間と組織管理

### （1）労働時間数

#### ① 全医師（145名） ※管理者，初期研修医，休職者を除く

年間時間外・休日労働時間数	2021 (R3) 年度実績	2022 (R4) 年度目標	2023 (R5) 年度目標
平均	495 時間 40 分	960 時間未満	960 時間未満
最長	1229 時間	1300 時間未満	960 時間未満
960～1860 時間の人数・割合	4 人/2.8%	4 人/2.8%	0 人/0%
1860 時間超の人数・割合	0 人/0%	0 人/0%	0 人/0%

#### ② 初期臨床研修医（20名） ※歯科を除く

年間時間外・休日労働時間数	2021 (R3) 年度実績	2022 (R4) 年度目標	2023 (R5) 年度目標
平均	374 時間 02 分	400 時間未満	400 時間未満
最長	600 時間	720 時間未満	720 時間未満
960～1860 時間の人数・割合	0 人/0%	0 人/0%	0 人/0%
1860 時間超の人数・割合	0 人/0%	0 人/0%	0 人/0%

#### ③ 専攻医（19名）

年間時間外・休日労働時間数	2021 (R3) 年度実績	2022 (R4) 年度目標	2023 (R5) 年度目標
平均	662 時間 18 分	960 時間未満	960 時間未満
最長	1032 時間 53 分	1300 時間未満	960 時間未満
960～1860 時間の人数・割合	1 人/5.3%	1 人/5.3%	0 人/0%
1860 時間超の人数・割合	0 人/0%	0 人/0%	0 人/0%

④ 救急担当医（救命救急センター兼務）

救急1（21名）

年間時間外・休日労働時間数	2021 (R3) 年度実績	2022 (R4) 年度目標	2023 (R5) 年度目標
平均	505 時間 07 分	960 時間未満	960 時間未満
最長	937 時間 30 分	960 時間未満	960 時間未満
960～1860 時間の人数・割合	0 人/0%	0 人/0%	0 人/0%
1860 時間超の人数・割合	0 人/0%	0 人/0%	0 人/0%

救急2（28名）

年間時間外・休日労働時間数	2021 (R3) 年度実績	2022 (R4) 年度目標	2023 (R5) 年度目標
平均	650 時間 06 分	960 時間未満	960 時間未満
最長	1055 時間 30 分	1300 時間未満	960 時間未満
960～1860 時間の人数・割合	2 人 / 7.1%	2 人/7.1%	0 人/0%
1860 時間超の人数・割合	0 人/0%	0 人/0%	0 人/0%

救急3（17名）

年間時間外・休日労働時間数	2021 (R3) 年度実績	2022 (R4) 年度目標	2023 (R5) 年度目標
平均	729 時間 37 分	960 時間未満	960 時間未満
最長	1229 時間	1300 時間未満	960 時間未満
960～1860 時間の人数・割合	2 人 / 11.8%	2 人 / 11.8%	0 人/0%
1860 時間超の人数・割合	0 人/0%	0 人/0%	0 人/0%

⑤ 麻酔科医（12名）

年間時間外・休日労働時間数	2021 (R3) 年度実績	2022 (R4) 年度目標	2023 (R5) 年度目標
平均	601 時間 19 分	960 時間未満	960 時間未満
最長	958 時間 39 分	960 時間未満	960 時間未満
960～1860 時間の人数・割合	0 人/0%	0 人/0%	0 人/0%
1860 時間超の人数・割合	0 人/0%	0 人/0%	0 人/0%

⑥ 救急科医（7名）

年間時間外・休日労働時間数	2021 (R3) 年度実績	2022 (R4) 年度目標	2023 (R5) 年度目標
平均	537 時間 39 分	960 時間未満	960 時間未満
最長	729 時間 45 分	960 時間未満	960 時間未満
960～1860 時間の人数・割合	0 人/0%	0 人/0%	0 人/0%
1860 時間超の人数・割合	0 人/0%	0 人/0%	0 人/0%

(2) 労務管理・健康管理

【労働時間管理方法】

2021 (R3) 年度取組実績	ICカードによる出退勤管理 TimePro-NX WEBによる時間外勤務管理
2022 (R4) 年度取組目標	ICカードによる出退勤管理 TimePro-NX WEBによる時間外勤務管理
2023 (R5) 年度取組目標	ICカードによる出退勤管理 TimePro-NX WEBによる時間外勤務管理 自己研鑽の管理

【宿日直許可の有無を踏まえた時間管理】

2021 (R3) 年度取組実績	過去に宿日直許可を受けている。
2022 (R4) 年度取組目標	労働基準法施行規則第23条の宿日直許可の取得手続きを改めて行う。
2023 (R5) 年度取組目標	新たな宿日直許可に基づき適切に取り組む。

【医師の研鑽の労働時間該当性を明確化するための手続等】

2021 (R3) 年度取組実績	2018 (H30) 年度から医師等の時間外勤務の基準や自己研鑽に関して職員に文書通知し、研修会で周知を行っている。
2022 (R4) 年度取組目標	医師等の時間外勤務の基準、自己研鑽に関して、継続して文書や研修会で周知を行う。
2023 (R5) 年度取組目標	医師等の時間外勤務の基準、自己研鑽に関して、継続して文書や研修会で周知を行う。 TimePro-NX WEBへ自己研鑽時間入力を行う。

【労使の話し合い、36協定の締結】

2021 (R3) 年度取組実績	36協定に定められた医師の時間外労働時間1500時間の評価
2022 (R4) 年度取組目標	宿日直許可取得の有無による時間外労働の変化への対応、評価
2023 (R5) 年度取組目標	2022 (R4) 年度の結果を踏まえて、36協定の再締結

【衛生委員会、産業医等の活用、面接指導の実施体制】

2021 (R3) 年度取組実績	長時間労働面談47回、対象者26人 ※医師のみ
2022 (R4) 年度取組目標	時間外労働が月80時間以上の医師の「長時間勤務者状況報告シート」収集、検討 全医師、歯科医師、各科責任者へ、月2回時間外労働時間報告し、業務の平準化を検討
2023 (R5) 年度取組目標	時間外労働が月80時間以上の医師の「長時間勤務者状況報告シ-

	ト」収集，検討，状況報告，周知 全医師，歯科医師，各科責任者へ，月2回時間外労働時間報告し，業務の平準化を検討 長時間勤務科の業務改善計画の策定，実行
--	---

【追加的健康確保措置の実施】

2021 (R3) 年度取組実績	健康診断受診率 前期 96.9%，後期 96.5% ※医師のみ
2022 (R4) 年度取組目標	健康診断受診率 100%を目指す。 勤務間インターバルの周知
2023 (R5) 年度取組目標	健康診断受診率 100%を目指す。 勤務間インターバルの周知

(3) 意識改革・啓発

【管理者マネジメント研修】

2021 (R3) 年度取組実績	「医療を未来のために繋げるために，今，働き方改革を」(5月厚労省) 「これからの病院と勤務医のあり方」(9月-1月全自病) 医師の働き方改革に関する「トップマネジメント研修」(9月-2月厚労省)「医師の働き方改革留意点」(11月全自病)
2022 (R4) 年度取組目標	「第8回医療勤務環境セミナー」(6月勤改センター) 「トップマネジメント研修」(7月-2月厚労省)
2023 (R5) 年度取組目標	研修会から学び，当院に活かす

(4) 策定プロセス

2022年(令和4年)6月より医療勤務環境改善委員会 診療部会を毎月開催し，この計画の検討・策定を行った。案の段階で，看護師や診療放射線技師など多職種から成る医療勤務環境改善委員会で内容について，確認を行った。策定後は全職員を対象とした研修会を開催するほか，院内情報共有やホームページに掲載し，周知を図る。

2 労働時間短縮に向けた取組

(1) タスク・シフト/シェア

- ・ 医師事務作業補助者の活用  
各グループの業務の内容調査を行い，グループ再編や業務を見直し，医師の業務量削減を図る。
- ・ 診療情報管理士の活用  
各診療科ごとに担当を置くなど段階的にその効果を検討しつつ行い，DPC入力，サ

マリー作成，レセプト点検，各科分析を行いクリニカルパスへの参画などを進める。

- ・ 特定行為研修修了看護師の活用・増員  
現在は特定行為研修修了看護師 2 名であるが，今後，計画的に増員し，タスクシフトを図る。  
当院において特定行為研修が可能となる仕組みを構築する。
- ・ 病棟薬剤師，管理栄養士の活用の推進

## (2) 医師の業務の見直し

- ・ 複数主治医制の導入，若しくは主治医制廃止を進める。
- ・ 夜間，週休日の当番制の推進
- ・ クリニカルパスの改訂を推進し，業務標準化を図る。
- ・ 週 1 日，必ず出勤しない日を作る。

## (3) その他の勤務環境改善

- ・ レセプト業務について  
現状としてレセプト点検業務は医師にとって時間を要する業務であり，業務委託の観点からも職員の育成を図り，レセプトチェッカーなどの IT 化による業務改善を進める。
- ・ 入院支援，退院支援の充実  
コンサルジュ機能をもった入退院支援を進める。
- ・ 総合診療科，糖尿病専門医などの確保，適正医師数の確保

## (4) 副業・兼業を行う医師の労働時間の管理

- ・ 副業，兼業を行う医師の把握（届出制）
- ・ 副業，兼業先医療機関の宿日直許可の確認

## (5) C-1 水準を適用する臨床研修医及び専攻医の研修の効率化

- ・ 研修プログラムの見直しを行い，魅力ある臨床研修とし，人員の確保に努める
- ・ 時間外勤務を考慮した労働時間の平準化を行う。
- ・ 専攻医の業務削減（特に週休日，祝日）
- ・ 初期臨床研修医の連続勤務時間 15 時間，勤務間インターバル 9 時間，あるいは，連続勤務時間 24 時間，勤務間インターバル 24 時間を考慮した勤務編成